

ルワンダの未来をつなぐ一両国学生による国際プロジェクトが始動 ～ルワンダの高等教育機関とMOU締結、4月より共同プロジェクト開始～

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、ルワンダの高等教育機関である Rwanda Polytechnic Tumba College（ルワンダ共和国、<https://www.iprctumba.rp.ac.rw/> Principal Rita、以下「RP-Tumba College」）と産学連携・国際教育の推進を目的としたMOU（包括的連携協定）を締結しました。この提携により、両国の学生が協力し、国際的な課題解決に挑むプロジェクトが4月より正式にスタートします。3月13日に行われたキックオフミーティングを皮切りに、教育・文化の枠を超えた交流が本格化し、持続可能な社会に貢献する新たなイノベーション創出を目指します。



■ ルワンダ・日本間でのビジネス創造プロジェクトについて

本プロジェクトでは、日本とルワンダの学生が混成チームを結成し、現地課題を解決しながら、新たなビジネスの可能性を探ることを目的としています。単なる学術交流にとどまらず、社会課題を持続可能なビジネスモデルとして発展させることを重視し、各チームが新規事業の提案に挑戦します。

プロジェクトの集大成として、日本国内の投資家を招き、各チームが事業提案をプレゼンテーションします。優れた提案には、実際の出資が行われる可能性もあり、プロジェクト終了後はアイデアを実際に事業として推進するフェーズへ進みます。学生たちは実践的な起業プロセスを経験し、グローバルな視点でのビジネス開発力を養います。

■ 今後のスケジュール（予定）

- 2025年3月13日：キックオフミーティング
- 2025年4月下旬：プロジェクト正式スタート／オリエンテーション
- 2025年5月～8月：チームごとの課題選定・リサーチ活動
- 2025年9月：投資家向けピッチ（オンライン／オフライン併用）
- 2025年10月～：採択されたプロジェクトの実施・事業化支援

■ RP-Tumba College とは

RP-Tumba College は、ルワンダにある高等教育機関で、技術・職業教育訓練を専門としています。2007年に設立され、ルワンダおよび地域の経済のニーズに応える高い技術を持つ技術者の育成を目指しています。

■各関係者からのコメント

○RP-Tumba College Principal Rita



この覚書（MoU）の締結は、日本の大学との長年にわたる協力関係をさらに強化する重要な一歩となります。私たちは、iU およびその優れた教授陣と共に「ルワンダ-日本ビジネス創造プロジェクト」を立ち上げることを大変光栄に思い、心から期待しています。

本 MOU のもとで、ルワンダの学生は日本の学生と緊密に協力しながら、現実の社会課題に取り組む、知識を共有し、起業的な解決策を共に生み出していきます。この新たなパートナーシップは、単なる学術交流にとどまらず、ビジネス創造の視点を取り入れた実践的な協働の機会を提供するものです。これにより、彼らはグローバルな視野を広げるとともに、リーダーシップや課題解決力、創造的思考力といった、次世代のビジネスパーソンに不可欠なスキルを磨くことができるでしょう。私たちは、この協力が日本とルワンダの未来を担う若者たちにとって、かけがえのない学びの機会となることを確信しています。

○iU 情報経営イノベーション学部 学部長補佐（グローバル領域） 奥村 耕一



本学にとって、今回の MOU 締結は大きな一歩です。特に、本学の客員教員が培ってきた国際的な知見やネットワークを活かし、ルワンダの高等教育機関との MOU を締結できたことを大変頼もしく思います。本プロジェクトは、単なる学術交流にとどまらず、学生たちが異文化の仲間と協力しながら実社会の課題に取り組む実践的な学びの機会となるでしょう。国境を越えた協働を通じて、未来を担うグローバル人材の育成に貢献できることを期待しています。

○プロジェクトマネジャー 株式会社 OfficePIECE 代表取締役・iU 客員教授 内川 高志朗



僕は日頃から、学生の方や若い方のポテンシャルや可能性に驚かされています。今回のプロジェクトを立ち上げたのは、そんな皆さんに、プロジェクトを通じて単なる教育交流の枠を超え、日本とルワンダの学生たちが一つのチームとなって、社会の課題に真正面から挑戦し、持続可能なビジネスを創造するチャレンジングな機会を提供したいと考えたからです。異なる環境・バックグラウンドや価値観を持つ仲間が協力し合いながら成長していく姿を見ることが、僕にとっても大きな喜びであり楽しみで仕方ありません。これから両国の学生たちと共に、僕自身も成長していけると思いますし、また未来に向けて新たなイノベーションを生み出していけることをワクワクしております。

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数48、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業737社、客員教員1,160人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等103プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・基幹教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

①論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人600時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp